

2012年5月22日  
大阪府市エネルギー戦略会議

FUJITSU

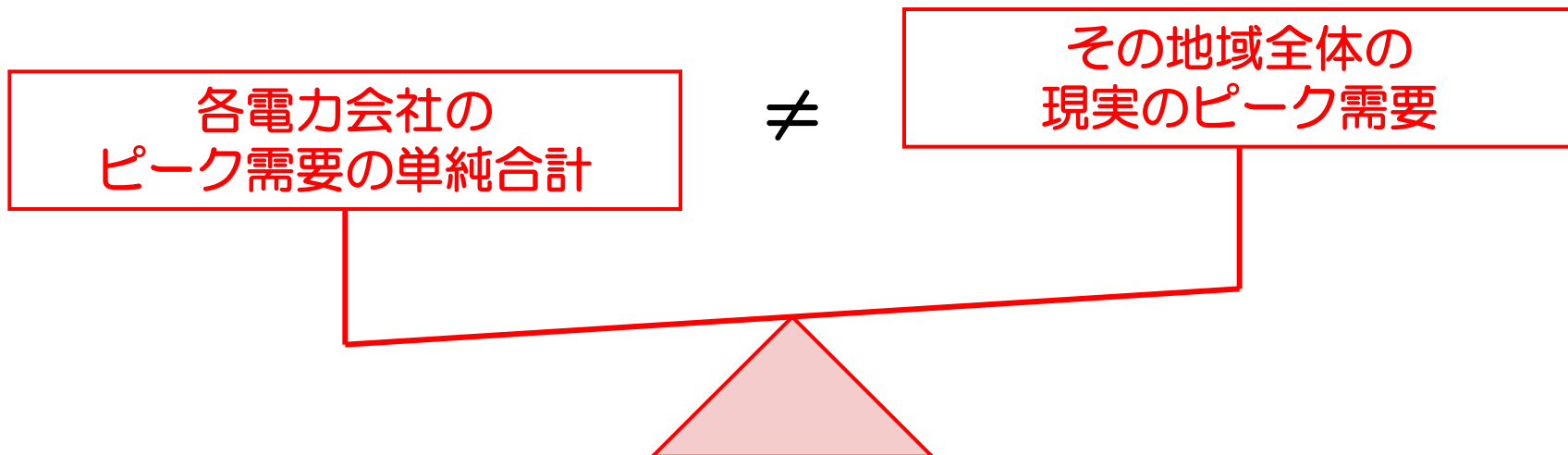
shaping tomorrow with you

# 不等率について

～西日本のピーク需要はまだ下がる～

富士通総研 経済研究所  
高橋 洋

# 不等率とは何か？



## 理由：

- 各電力会社のピーク需要の日時は異なるから。
- 全ての日時が一致する可能性は極めて低い。

## 示唆：

- 単純合計のピーク需要は架空のものであり、数値は過大。
- 地域全体で考えれば（広域運用）、需給調整は容易になる。

# 例えば：中西日本6社の年間ピーク需要

## <2009年度>

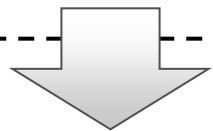
時間帯	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	合計
万kW	2,433	508	2,818	1,071	542	1,665	8,826
月日	8月4日	8月20日	7月14日	8月7日	8月21日	8月7日	8月7日
時間帯	15-16時	15-16時	14-15時	13-14時	15-16時	15-16時	14-15時

## <2010年度>

時間帯	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	合計
万kW	2,709	573	3,095	1,201	597	1,750	9,770
月日	8月24日	8月5日	8月19日	8月20日	8月20日	8月20日	8月24日
時間帯	15-16時	15-16時	14-15時	14-15時	15-16時	17-18時	15-16時

# 中西日本の不等率

	2009年度	2010年度
各電力会社の ピーク需要の単純合計	9037万kW	9925万kW
その地域全体の 現実のピーク需要	8826万kW (8月7日14-15時)	9770万kW (8月24日15-16時)
<乖離>	211万kW (2.33%)	155万kW (1.56%)



ピーク需要から差し引くべき

※関電のピーク需要時

8,771万kW

9,747万kW


# ※参考資料：需給検証委員会

## ＜中西日本6社のピーク需要＞

(万kW)

(年度)	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
中西 単純合計	9,652	9,256	9,580	10,106	9,719	9,484	9,626
中西 ピーク需要	9,591	9,021	9,524	9,977	9,622	9,345	9,522
差分 (比率)	62 (0.6%)	235 (2.6%)	57 (0.6%)	128 (1.3%)	97 (1.0%)	139 (1.5%)	104 (1.1%)

(年度)	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
中西 単純合計	9,657	9,825	10,005	10,045	9,038	9,925	9,009
中西 ピーク需要	9,615	9,753	9,832	9,976	8,842	9,811	8,938
差分 (比率)	42 (0.4%)	73 (0.7%)	173 (1.8%)	70 (0.7%)	196 (2.2%)	114 (1.2%)	71 (0.8%)



**FUJITSU**

**shaping tomorrow with you**